



株式会社エヌエスケーエコーマーク

IT技術投資や品質の安定に 積極的に取り組み 価値ある技術の実現へ



事業者紹介

当社は1985年設立以来、スポーツ関連のマーク加工業務で発展し、顧客満足・従業員満足・企業満足を理念に活動しております。「スピード・サービス・スピリッツ」の3S方針で「想像力・創造力・行動力」を掲げ、アパレル企画やデザイン企画に携わり、数々の優れたマーク加工技術を実現してまいりました。

また、IT技術投資も積極的に推進し、業務の最適化と品質の安定に惜しみない努力を継続中です。

これからもスポーツアパレル関連の国内市場を軸に、価値ある技術をご提供いたします。

経緯・背景

当社では、SDGsを単なる企業活動の一部としてではなく、社会的な流れとして捉えております。

これからのビジネス環境においても、SDGsへの取組は必要不可欠であり、これを無視することはできない状況です。当社では以前からSDGsに近い取組を行ってきており、一定の成果を上げてきましたが、現状に満足することなく、さらなるステップアップを目指す必要があると感じております。

これを機に既存の取組を強化するとともに、より持続可能な未来を実現するための努力を続けていくことを決意しました。

東吾妻町

住 所・・・吾妻郡東吾妻町大字箱島1690-1

T E L・・・03-3207-4004(東京本社)

U R L・・・http://www.nskechomark.co.jp

代表者・・・西牧 寛次

設 立・・・1985年11月19日

資本金・・・10,000千円

従業員・・・113名

WEBサイト



生地端材のリサイクルで 廃棄物の削減 社員の働きがいの向上も考慮

具体的な取組・成果

5.ジェンダー平等を実現しよう 10.人や国の不平等をなくそう

私たちは外国人労働者を積極的に採用しており、その多くは女性です。彼女たちの経済的自立やキャリア発展を支援することで、働きがいを提供しております。また、女性管理職の積極的な登用も行っており、職場における女性のリーダーが増えることで、意思決定の多様性が向上していると感じております。



8.働きがいも経済成長も

2024年の4月に自動シルクスクリーンプリント、自動たたみ機を導入しました。

従来、手動で行われてきた作業や、属人化した作業を、機械化・自動化することで労働者の負担軽減をしつつ生産性が向上しております。



11.住み続けられるまちづくりを

当社は、閉校となった中学校の建物を工場として再利用しております。地域資源を有効活用することで建物の解体などによる環境負荷を削減するとともに地域の雇用を創出することで、地域経済の活性化にも貢献しております。

12.つくる責任つかう責任

生産工程の中で発生する生地端材をリサイクル業者に繊維くずとして提供し、自動車の内装用の緩衝材として再利用していただいております。2023年度は年間で9,950kgの端材を繊維くずとして処理しており、廃棄物の削減を実施しております。



生地端材

ISO9001:2015(JIS Q 9001:2015)を取得している他、外資系企業による工場監査にも合格しております。

当社にとってのSDGsビジョン

社員ひとりひとりがSDGsの重要性を理解し、意識を高め、積極的に取り組んでいくことを目指しています。

また、この取組を積極的に発信していくことで、社内だけでなく社外にもSDGsの輪を広げ、より多くの方々と共に協力して持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。

今後の展望と求めるパートナー像

当工場では多くの資材を利用しており、それらは人体や環境に負荷を与える可能性があります。

今後はより負荷の少ないものを選定していくことが必要であり、そのような資材を提供するメーカーをパートナーとして考えていく必要があります。